

MAP うちの防災マップ (P.3つづき)

実際の作業の様子は…

町内12区から各5名ずつ参加し、市の防災担当職員を講師に招いて指導を受け、基本となる手作りマップを作成しました。その後各区での聞き取り調査や、現地調査を行いながらより詳細な情報をマップに表示していききました。



▲手作りマップ作成の様子



▲完成したうちの防災マップ(因島中庄町徳永区)

作業を行って来て苦労した点…

手作りのマップをデジタル化する際に、ノウハウがなかったため苦労しました。平成30年7月豪雨の教訓や地区ごとの調査結果、その後の新たな防災関係の情報などを反映させるため、何度も変更しながら各地区ごとのマップ(全15パターン)を作成したので、予想以上の作業量となりましたが、より地域に密着したマップになったと思います。

マップの活用について…

町内の全世帯に配布済みであり、また、新たに転入の世帯や警察、消防、学校、公民館、各集会所等にも配布しています。自分の住んでいる地域の詳細を知ることにより、災害時の自分や家族、友人、隣人など地域全体の安全・安心に繋がっていくものと考えています。

尾道市では「うちの防災マップ」作成費用の一部を補助しています。

うちの防災マップ作成事業補助金

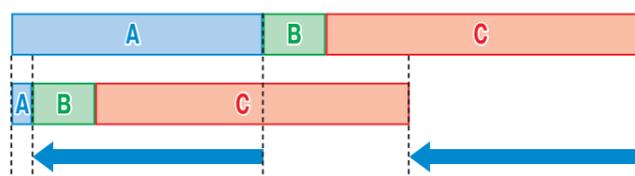
対象団体：自主防災組織(結成届を提出しているもの)・自治会組織  
 補助対象：作成に必要な消耗品、資料印刷費、施設使用料など 補助金額：上限20,000円  
 その他：完成したマップの印刷費は上記とは別に市が負担

避難に備えて準備をしておきましょう

ストップウォッチのスタートボタンを押して、次のものを集めて鞆に入れてください。

- |  |   |                                 |                                       |
|--|---|---------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 3日分の衣類・タオル          | <input type="checkbox"/> ヘルメット・頭巾                 | <input type="checkbox"/> レインウェア | <input type="checkbox"/> 紐なしのズック靴     |
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯                | <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ                    | <input type="checkbox"/> 救急用品・薬 | <input type="checkbox"/> 携帯電話充電器・予備電池 |
| <input type="checkbox"/> マッチ・ろうそく            | <input type="checkbox"/> 軍手                       | <input type="checkbox"/> 洗面用具   | <input type="checkbox"/> 歯磨きセット       |
| <input type="checkbox"/> 筆記用具                | <input type="checkbox"/> 3日分の水・食料(レトルト等すぐ食べられるもの) | <input type="checkbox"/> ブランケット | <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ      |
| <input type="checkbox"/> 貴重品(通帳・現金・印鑑・保険証など) | <input type="checkbox"/> マスク                      | <input type="checkbox"/> 消毒液    | <input type="checkbox"/> 体温計          |
| <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ           |   |                                 |                                       |

かかった時間： 分 秒



見直してみよう

- 重いもの・かさばるものは、他のもので代用できませんか？
- 避難の期間や避難先によって必要なものを考えてみましょう。

避難が完了するまでにかかる時間は、A:持ち出し品を用意する時間、B:そのほかの準備(戸締り・火の元確認など)の時間、C:避難場所への移動に必要な時間の合計となります。BとCを短くすることは難しいですが、Aは日ごろから準備をしておけば、ゼロに近づけることができます。

いざというときにすぐ行動を開始できるよう、日ごろから持ち出し品を準備しておきましょう。

情報を集めましょう

突発的なものもあるため油断はできませんが、大雨の場合は、事前に迫りくる危険を予測できる場合も多くあります。雨が降っているときは、テレビ・ラジオ・インターネット等あらゆる手段を使って、天気に関する情報をチェックしましょう。

避難の情報については、「防災ラジオ」や「尾道防災アプリ」も活用してください。

防災ラジオ



ラジオなんてもう持ってるし、別に要らないよ。



普通のラジオとは違います!!(※)

お住まいの地域に避難の情報等が出された場合には、音声でお知らせします。そのほか、市や地域からのお知らせがある場合にも音声で流れます。

※通常時はFMラジオとしても使用可能。

対象

- 尾道市に住民票のある世帯 ⇒ 1世帯1台無償で貸し出し
  - 市内に所在する事業所 ⇒ 負担金10,000円(1台目のみ対象)で貸し出し
- 上記以外や2台目以降の場合は21,450円/台で購入可能

申し込み

総務課生活安全係 (☎0848-38-9216)

電波干渉による不具合について

すでに設置されている防災ラジオについて、お知らせの音声が乱れる現象が報告されています。原因として電波の干渉が考えられています(家庭用のWi-Fi等も影響を及ぼす模様です)。このような現象が発生する場合には、防災ラジオの設置場所を移動していただくようお願いします。

ラジオ アプリ

併用がオススメ

防災ラジオのメリット

- 音が自動的に流れるので、画面を開いて確認する必要がない。
- 停電時には乾電池でも動く。

防災アプリのメリット

- 過去のお知らせについても確認できる。
- お知らせ以外にも便利な機能。

防災アプリ



何だか難しそう・・・やだやだ



初回だけ、ほんの少し頑張ってください

(初回設定も、画面の指示に従うだけの簡単操作です)あとは自動でお知らせが届きます。こちらから▶



防災アプリの機能

- お知らせ  
防災情報、尾道市や地域からのお知らせ(※)を通知します。※地域からのお知らせの受信には町内会名の設定が必要です。
- 防災マップ  
災害の危険性が高い場所を地図上で確認できます(P.3も参照)。
- 防災リンク ● 安否確認 ● 救援ブザー
- 災害用伝言版(web171) ● 避難ルート

災害時の情報収集には、スマートフォンも活躍します。モバイルバッテリー等、充電についても対策をしておきましょう。